



誠・力・光

令和2年 7月17日
練馬区立北町中学校
学校だより 4号

自分らしい生き方

校長 中嶋 雅彦

本校では、7月15日、16日に国語、社会、数学、理科、英語の定期考査を行いました。どの生徒も、自分が行った学習がどれだけ定着しているかを確認するため、真剣にテスト用紙に向かっていました。

本年度は2か月間の臨時休校があり、6月からの再開でしたので子どもたちは、学力を今まで以上にしっかり身に付けなければならないと感じているようです。本校では、そのような生徒の不安をなくすために、昨年度から各教室に設置されたICT機器を有効活用し、さらに分かりやすく、楽しい授業を計画し、実施しています。これからもより丁寧で計画的な授業展開が必要であり、その実践に努めていきます。さらに、英語の授業に続き、数学でも、教員を増員し、習熟度別少人数授業を行います。数学は得意、不得意の差が出やすいといわれている教科です。定期考査の成績などを参考に、生徒、保護者の意見を集約し、習熟度別で少人数の教室をつくり授業を行っていきます。子どものつまずきを早期に発見し、個に応じた指導を行っていきます。また、本年度は、朝読書の時間を朝学習の時間にすることを多くし、学習の定着を図るため授業だけでなく少し時間を置き反復し学力を定着させています。

学習活動の充実や授業時数の確保のために、1学期の終業式は、7月31日(金)となります。今月23、24日のスポーツの日、海の日も授業日として生徒は登校することとなっています。夏季休業日は、8月1日から30日までとし、8月31日が2学期の始業式になります。本校では、今年の夏、西側校舎のトイレ改修工事のため、区内の小中学校とは違い、祝日や冬季休業日を授業日とすることにより夏季休業日を少し長くしています。

また、学習する目的を見失いがちなこのような状況下である時こそ、学校ではキャリア教育の充実を図り、生徒に自分らしい生き方の実現に向かい、積極的な学習への取り組みを行わせたいと考えています。今年度から、すべての小学校、中学校、高等学校等において、「キャリア・パスポート」の活用が始まりました。「キャリア・パスポート」は、小学校、中学校、高等学校段階のキャリア教育をつなぎ、12年間の見通しをもって、より効果的に児童・生徒のキャリア形成を図っていくことを目的とするものです。「学期のまとめ」「1年の振り返り」などの生徒の学習活動等の振り返りの記録をキャリア教育の視点から見直し、その記録を保存していきます。そして、学年単位や校種単位で終わらせることなく、継続的に蓄積していきます。この記録の蓄積をもとに、生徒は自らの学習状況やキャリア形成の見通しをもち、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現を図らせていこうと考えています。感染症予防のため教育活動にも制約が多い中だからこそ、生徒には目標を見失わず、自らが計画、実施、評価を繰り返す仕組みを充実させ、自分らしい幸せに向かい成長させたいと考えています。

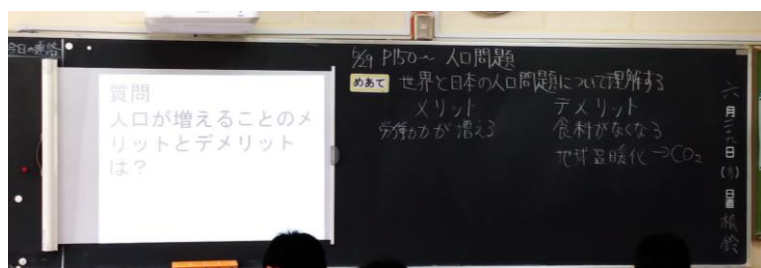
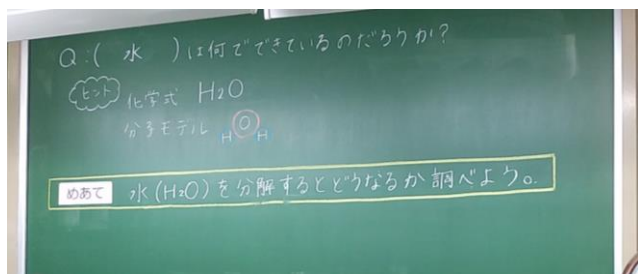
子どもたちの安全、安心を確保することはもちろん、子どものよりよい学校教育の推進のために家庭や地域と今以上の連携を行う必要があります。今後とも、保護者、地域の皆様には、子どもたちのより良い成長のためにご協力をお願いいたします。

北町中の授業は全てこうなります！

全ての教科において、授業の始めに「めあて」を掲げます。なぜ、めあてを掲げるのでしょうか。「めあて」は、生徒たちの主体的な学びを保障するためのもので、その授業の学習のゴールを示します。ゴールが示されたことで、生徒たちはゴールを目指して取り組みます。そして、教員はその授業でゴールできるよう支援していきます。

また、そのめあてについて「振り返り」を行います。（感想ではありません。）生徒自身が自分の学びを自ら振り返ることで、学習プロセスや獲得した学習成果、次なる学習課題を認識、省察することを通し自分なりの思考力や判断力、表現力を高め、成長していく自分を感じさせることができます。これは、自己肯定感や自己有用感を高めます。

このように、全ての教科で同じ方法での進め方をしていくので、学年や担当が変わっても取り組みやすい利点もあります。学び続ける教員が、学び続ける子どもを育てます。そして、保護者や地域の方々が学校の応援団になっていただくことを切望いたします。



転出された先生方より

臨時休校が続き、離任式を行うことができませんでした。転出された先生方も後ろ髪をひかれる思いで、新しい学校へと着任したはずです。その先生方からお言葉をいただきました。

北町中学校で過ごした11年間、最後の1か月を明るく素直な皆さんと過ごせなかったことが何より心残りでした。

保護者の皆様や地域の皆様には様々な場面で力をお貸いただき、感謝の言葉がありません。隣の学校にいますので、様々なところで会えるかと思えます。その時には、心身共に成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

今までありがとうございました。 成田 彰伸 先生

北町中学校のみんなの元気に過ごしていますでしょうか。5年間過ごした北町中での懐かしい数々の楽しい思い出が今でも昨日のこのように思い出されます。コロナの影響で先生も6月から学校が再開され、毎日張り切って生活しています。先が見えなくて不安なことがお互いにたくさんありますが、自分のコントロールできることに全力を注いで、最善を尽くしていきましょう。また、皆さんにお会いできる日を心より楽しみにしております。 藤木 正明 先生

北町中学校の生徒の皆さん、お元気ですか。

離任式できちんと挨拶ができず、心残りでした。しかし、このような形でメッセージを綴ることができ、今まで支えてくれた生徒一人一人に感謝を伝える機会を得られ、大変嬉しく思っています。6年間ありがとうございました。

毎年当たり前のようにある行事が中止や延期になり、いつもと違う日常で戸惑うこともあると思います。そんな中であっても、この北町中学校で健康に気を付けながら友達や先生方と思い出をたくさんつくってほしいと願っています。

ご活躍を期待しています。 谷津 岳文 先生

生徒の皆さん、そして多くの先生方、2年間大変お世話になりました。

命とは神様からあなたに与えられた時間のことです。『この世の中は神様からの贈り物に満ちている』とは105歳まで生きた日野原重明聖路加病院院長の言葉です。これからたくさんの宝物を見つけながら成長して行ってください。生きていくことこそ勝利です。 亀島 正良 先生